

奈良市幼保再編実施計画に基づく 市立幼保施設の再編実施方針について

— 令和3年2月公表分 —

① [市立幼保施設の再編について]





本市では、増加・多様化する保育ニーズに的確に対応していくため、少子化及び厳しい財政状況下においても、安定的・継続的に質の高い教育・保育を提供していくことをめざしています。













その取組の中核を担うものとして、「奈良市幼保再編基本計画・実施計画」及び「市立幼保施設の民営化についての基本的な考え方」に基づき、市立幼保施設を統合再編するとともに、民間活力を最大限に活用（いわゆる民間移管）することで、適切な集団規模の中で等しく教育・保育を受けることができる就学前児童のよりよい教育・保育環境の整備を積極的に進めています。

② [今回公表分について]

今回公表の再編実施方針については、大宮幼稚園（三笠中学校区）・明治幼稚園（都南中学校区）・大安寺西幼稚園（三笠中学校区）を民間移管することにより、これらの地域における就学前児童の教育・保育環境において、これまで築き上げてきた市立園の教育・保育を受け継ぐと共に、民間活力を最大限活用し、市直営では迅速な実現が難しい園独自の保育ニーズに対応するため、公私連携幼保連携型認定こども園施設の設置に向けた取組を進めてまいります。

表記について

[運営主体]		[運営形態]		[対象]	
	奈良市が運営する施設		幼保連携型認定こども	【1号】 教育を希望する3歳以上の子ども	
	学校法人や社会福祉法人が運営する施設		認可幼稚園	【2号】 保育を必要とする3歳以上の子ども	
				【3号】 保育を必要とする3歳未満の子ども	

運営主体	運営形態	施設名称	移行予定	運営主体	運営形態	対象	方針内容
		大宮	→ R5年4月			1号 2号 (3号)	▶民間活力を活用し、公私連携幼保連携型認定こども園へ移行 ▶3号認定の受入拡大の段階的な実施を検討
		明治	→ R5年4月			1号 2号 (3号)	▶民間活力を活用し、公私連携幼保連携型認定こども園へ移行 ▶3号認定の受入拡大の段階的な実施を検討
		大安寺西	→ R5年4月			1号 2号 (3号)	▶民間活力を活用し、公私連携幼保連携型認定こども園へ移行 ▶3号認定の受入拡大の段階的な実施を検討

③ [市立幼保施設の今後の在り方について]

今回、再編方針を公表する市立幼保施設は、園児数が減少傾向であるものの、多様化する教育・保育ニーズに対応することで、集団的な教育・保育の提供体制の確保が可能であると本市が判断した市立幼稚園としており、今後は移管先法人の選定を行い公私連携幼保連携型認定こども園へ移行することを目指します。

残る再編未実施の市立幼保施設については、引き続き幼児教育・保育の無償化による教育・保育ニーズの変化や動向、地域の実情等に注視しながら今後の在り方を検討し、再編方針の追加公表を行う等、臨機応変に対応していきます。

令和3年2月
子ども未来部 子ども政策課